基本コンセプトの考え方

[図書館を意味するキーワード]

- ・ 知、知る、知識、学ぶ、学習、読む、情報

[これからの図書館づくりに関するキーワード]

- ・ 課題解決型、市民参加型、企画提案型、支援、クオリティオブライフ、ネットワーク、輪

[駅ビルに関連するキーワード]

- ・ 駅、駅ビル、ステーション、ターミナル、ポータル、窓口、中心、にぎわい、知の駅、学びの駅、知のステーション、ナレッジステーション、知のターミナル、ナレッジターミナル、知の窓口、情報の駅、情報ステーション、情報ターミナル

[地域性に関するキーワード]

繊維のまち、織物のまち、総合繊維産業都市、毛織物王国、紡績・撚糸・染色、整理から縫製、つむぐ、織る、織りなす、縫う、仕立てる

●基本コンセプト案

案1) ひと、まち、暮らし育む知恵袋

ひと・まち・暮らしの豊かさを育む場として、それらに役立つ資料・情報・知識が得られる場を表現している。

案2) 知をつむぐ心豊かな育ちの場

図書館における資料・情報・出会い等を通じて、人々が生涯にわたって主体的に学び続け、豊かな感性や人間性を育むことの出来るような場を表している。

案3) 知をつむぐ 学び集いと憩いの広場

図書館の役割である読書・学習の場を提供することだけでなく、新たな出会いや安らぎをも創り出す空間であることを表している。

案4) ひと、まち、暮らしの知恵の輪(和)に

「知恵の輪」とは、ひと・まち・暮らしにおける解決すべき課題を表すとともに、「知恵」の「輪」は、知識、文化、情報などのネットワークも表現している。また、「知恵の(和)」とは、人とひとの交流を表している。

案5) ここで出会い、ここから広がる情報・交流ステーション

読書・学習の場としてだけではなく、新たな情報や新たな人との出会いから、情報や交流が広がる場を表している。

案6) 知をつむぎ、ひと・まち・暮らしを織りなす学びの駅

学習の場として、そして様々な課題解決に資する拠点として、駅ビルが機能することを表している。

案7) 宝さがし、自分さがし、幸せさがしの情報ステーション

ワクワクするような情報に接することができ、個人での学習・研究や、家族や団体での憩いの場、また、様々な出会い・交流のキッカケとなる場を表している。

案8) 学び、気づき、仲間へ^{つな}ぎ知の窓口

図書館での学習を通じて生活における諸課題に気づき、同じ認識を持つ仲間への出会い、ふれ合いへと広がっていく様を表現。「維ぐ」で地域への愛着を表している。

案9) 知の^{おひびと}織人の学び、集い、憩いの広場

個人の知識・情報・経験を相互に結び、共有することで、人々がふれ合い、ともに学習し、成長していけるような場を表している。